

福岡県中部九市議会議長会総会、(仮称)九州国立博物館建設現場視察(平成16年4月6日:太宰府市)

## 平成16年第1回(3月)

### 筑紫野市議会(定例会)

#### 議案の審議結果

平成十六年第一回 定例会(三月二日、三月二十六日)

【市長提出議案】

議案 No.	件名	審議結果
同意 1	筑紫公平委員会委員の選任について	同意
報告 1	専決処分の承認について	承認
議案 1	〈平成15年度筑紫野市一般会計補正予算(第4号)〉 筑紫公平委員会設置規約の一部変更に関する協議について	原案可決
2	筑紫地区介護認定審査会の共同設置に関する規約の一部変更に関する協議について	"
3	筑紫野市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	"
4	筑紫野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	"
5	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	"
6	筑紫野市の単純な労務に雇用される職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	"
7	筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について	"
8	筑紫野市在宅障害者通園施設の設置及び管理に関する条例の制定について	"

平成16年 第1回(3月)定例会

# 主な議案

(委員会審査報告要旨)

## 平成十六年度 筑紫野市一般会計予算

総務委員会賛成多数 原案可決

本予算については、三月十二日から十八日まで延べ五日間にわたり予算書、予算資料、委員会が要求した資料をもとに審査を進めました。

国の三位一体改革の推進の影響を受け、地方交付税や臨時財政対策債をあわせて前年度比十六・四％の大幅減収となり、歳入不足を基金取り崩しと地方債の借り入れによって補った予算となっています。

審査の中では、こうした中でも福祉や教育予算に積極的に配分されており、一定評価

する。その他の予算も苦慮して編成された経過がうかがえる。施政方針で今年度を行財政改革元年と位置づけるとい

「昨年十二月、議員全員協議会に提案された財政健全化に向けての取り組みの中の具体的実施要綱に示されているものだけではないか」今後の予算執行の中で具体的に取組まれることを大いに期待する」という意見が出ました。

審査においては十一課の課長以下職員の出席を求め、二日間に行われた集中的に審査を行い、総務委員会として次の九項目を集約意見としました。

行財政運営について  
平成十六年度予算は、行財政改革元年と位置づけられている。この改革は国の三位一体改革の影響が大である。筑紫野市にとっては将来を左右するものと認識する。

この改革の成功に向け、行政はもとより市民にも十分理解と協力を得て、行政・市民一体となり目に見える形で改革が推進されるよう要請する。

地域交通対策について  
地域交通対策の一環として、

上西山バス路線運行の赤字分の補てん及び平等寺と御笠地区のバス路線の一部区間が廃止されたため暫定措置としての予算措置が講じられている。これらを含め、今後の地域交通体系の確立に万全を期されるよう要請する。

住基ネットシステムのセキュリティについて

住基ネットは、平成十四年八月から稼動し、二重三重のセキュリティ対策が講じられているが、さらに個人情報保護には一層の注意と厳重なる管理を図られるよう要請する。

福祉行政

福祉行政は、社会的弱者への扶助及び支援が大きな役割で、市の福祉政策においても積極的に推進されることは十分に認められる。

真に困窮している弱者が見過ごされることがないようきめ細かな対応を要請する。

農業政策

近年、農業を取り巻く環境は大きく変貌し、特に食の安全への関心も高まっている。そうした中、消費者が安心して食されるよう、また、地産地消を発展させるような施策も講じられるよう要請する。

議案 No.	件名	審議結果
議案 9	筑紫野市講座等受講料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
10	上水道の給水協定について	"
11	下水道の排水協定について	"
12	筑紫野市自動車駐車場条例の全部を改正する条例の制定について	"
13	筑紫野市道路及び普通河川占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	"
14	筑紫野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	"
15	筑紫野市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	"
16	平成15年度筑紫野市一般会計補正予算(第5号)について	"
17	平成15年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	"
18	平成15年度筑紫野市老人保健事業特別会計補正予算(第2号)について	"
19	平成15年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算(第1号)について	"
20	平成15年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	"
21	平成15年度筑紫野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	"
22	平成15年度筑紫野市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)について	"
23	平成15年度筑紫野市水道事業会計補正予算(第2号)について	"
24	平成15年度筑紫野市下水道事業会計補正予算(第3号)について	"

平成16年度 歳入歳出予算(単位:千円)

区分 会計名	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (イ)	伸率 (イ)×(B)%
一般会計	29,449,000	27,529,600	1,919,400	7.0
国民健康保険事業特別会計	6,285,170	6,033,202	251,968	4.2
老人保健事業特別会計	7,221,634	7,566,262	344,628	4.6
住宅新築資金等 貸付事業特別会計	36,752	37,067	315	0.8
奨学資金貸与事業 特別会計	14,012	11,944	2,068	17.3
介護保険事業特別会計	3,627,855	3,504,590	123,265	3.5
農業集落排水事業特別会計	616,157	618,914	2,757	0.4
土地取得事業特別会計	1,112,961	1,482,428	369,467	24.9
二日市財産区特別会計	3,000	3,076	76	2.5
御笠財産区特別会計	416	421	5	1.2
平等寺山財産区特別会計	12,587	13,572	985	7.3
計	48,379,544	46,801,076	1,578,468	3.4

平成16年度 筑紫野市水道事業・下水道事業会計予算(単位:千円)

水道 事業 会計	水道事業会計		下水道事業会計	
	収益的収入	1,557,862	収益的収入	1,882,070
	収益的支出	1,517,305	収益的支出	1,872,073
	資本的収入	552,782	資本的収入	1,285,786
	資本的支出	1,420,303	資本的支出	1,667,690

議案No.	件名	審議結果
25	平成16年度筑紫野市一般会計予算について	原案可決
26	平成16年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計予算について	"
27	平成16年度筑紫野市老人保健事業特別会計予算について	"
28	平成16年度筑紫野市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	"
29	平成16年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について	"
30	平成16年度筑紫野市介護保険事業特別会計予算について	"
31	平成16年度筑紫野市農業集落排水事業特別会計予算について	"
32	平成16年度筑紫野市土地取得事業特別会計予算について	"
33	平成16年度筑紫野市二日市財産区特別会計予算について	"
34	平成16年度筑紫野市御笠財産区特別会計予算について	"
35	平成16年度筑紫野市平等寺山財産区特別会計予算について	"
36	平成16年度筑紫野市水道事業会計予算について	"
37	平成16年度筑紫野市下水道事業会計予算について	"
38	筑紫野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	"
39	筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	"

商工観光について  
市の三大祭りは、商工観光両面の育成、発展に寄与していることは明らかである。今後とも一層の内容の充実を努められるとともに、祭りのあり方については、より一層の工夫と検討をされるよう要請する。

商工業対策  
中小企業融資預託制度は、市内中小企業者の事業経営に大きく寄与していることは明らかである。今後ともさらなる制度の充実に努められるよう要請する。

区画整理事業の推進  
本事業について、さらなる

住民合意形成を図られ、財政計画を明確にして、できるだけ工事期間を短縮し、早期完成を図られるよう要請する。

生活環境について  
宝満環境センターの新施設については、一年延期されるが、平成十九年の供用開始に向け最大の努力をされたい。また、山神ダム周辺地区の上流域における産廃処理場による水質保全には、十分なる対策をとられるよう要請する。

以上の項目について、市長助役の出席を求め、各項目に対する考え方、取り組みの姿勢について見解を求めました。

市長は、それぞれの要請事項に対して、内容が実現できるような可能な限り努力する旨の決意を示されました。

その後、討論の中で、一名の委員から、特別措置法の失効にもかかわらず同和対策予算が組まれていること、ごみ減量化が今本市で進められているので宝満環境センターの規模縮小については再検討すべき、ごみ袋代金の値下げは新宝満環境センターの稼働を待たずに実行すべき等の理由で反対討論がなされ、採決の結果賛成多数で原案どおり可決すべきものと決しました。

**平成16年 第1回筑紫野市議会(定例会)会期日程**  
 会期/3月2日～3月26日:25日間

月	日	曜日	会議名称	委員会	摘要
3	2	火	本会議		議案上程、提案理由説明
	3	水			議案研究日
	4	木		総務常任委員会	議案研究日(12:00議案質議通告締切)
	5	金	本会議		一般質問(代表質問)
	6	土			休会日
	7	日			
	8	月	本会議	議会運営委員会	発議・請願上程、委員会付託
	9	火		総務・文教福祉・市民環境常任委員会	
	10	水		総務・市民環境・建設経済常任委員会	
	11	木		文教福祉・建設経済常任委員会	
	12	金		総務常任委員会	
	13	土			休会日
	14	日			
	15	月		総務常任委員会	
	16	火			
	17	水			
	18	木		総務・建設経済常任委員会	
	19	金		人権・同和対策特別委員会 地域生活交通対策特別委員会	
	20	土			休会日
	21	日			
	22	月		産業廃棄物問題対策特別委員会	
	23	火	本会議		一般質問(個人質問)
	24	水		議会運営委員会	( )
	25	木			(委員会審査報告整理日)
	26	金	本会議		追加議案上程、委員長報告、 質疑、討論、採決

**情報公開実施機関に市議会も参入を決定**  
 筑紫野市情報公開条例の一部改正(委員会付託省略、全員一致原案可決)  
 本件は、平成十六年四月一日から、議会を情報公開条例の実施機関に加えることとし、議会の情報公開をより推進するため改正されるものです。

**市長助役・収入役・教育長の給料月額一〇%カット**  
 筑紫野市特別職の職員の給与等に関する条例・教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正(委員会付託省略、全員一致原案可決)  
 本件は、平成十六年四月一日から平成十七年三月三十一

日までの一年間、市長、助役、収入役、教育長の給料月額を一〇%減額しようとするもので、減額後の給料は、市長が八十二万八千円、助役が六十七万九千円、収入役、教育長が六十一万二千元となります。

陳情 No.	件名
23	政府に「イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書」の提出を求める陳情
22	政府に「イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書」の提出を求める陳情
21	筑紫駅西口土地区画整理事業の見直し及び事業の大幅な縮小を求める陳情
2	地方財政計画・地方交付税等の見直しの意見書採択を求める陳情(立明寺地区開発の協力要請)
3	JR福岡都市環状線の建設促進に関する陳情
4	筑紫駅西口土地区画整理事業の促進に関する請願(請願第3号 平成15年11月21日付)の採択は請願者である筑紫区代表の肩書きに誤りがあるため採択の取消を願う事及び抜本的見直しの上早期に事業を完了させる陳情
5	二日市東小学校児童保育所「風の子クラブ」の安全で安心できる運営や小学校教室の使用許可等を求める陳情

請願 No.	件名	審議結果
2	年金課税強化の撤回を求める請願について 教育基本法改正にかかわる意見書提出を求める請願について	採択

議員提出議案	件名	審議結果
1	2005年度国家予算編成において義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について	原案可決
2	筑紫野市農業委員会委員の推薦について	"
3	年金課税強化の撤回を求める意見書について	"
4	教育基本法改正にかかわる意見書について	"

### 2005年度国家予算編成において 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、教育基本法の理念に基づいた制度であり「義務教育無償の原則に則り、国民のすべてに対しその妥当な規模と内容とを保障するため、国が必要な経費を負担することにより、教育の機会均等とその水準の維持向上を図ること」を目的としている。そのため、この制度は財政面から義務教育を支え、今日まで、多大な役割を果たしてきているといえる。

しかしながら、政府は財政再建を理由に1985年度以降、義務教育費国庫負担金の見直しをすすめ、旅費、教材費、恩給費、共済費などが、また2004年度予算では、退職手当と児童手当が次々と国庫負担制度から適用除外とされ、一般財源化が図られてきた。これにより、ただでさえ厳しい地方財政は一層厳しさを増し、各市町村間で財政措置の格差が生じることとなりえる。

現在、小泉内閣はいわゆる「三位一体改革」に係って、国庫負担補助金の2兆円の削減を含む「改革の全体像」について、5月にも策定が予定されている「基本方針2004」で決定しようとしている。そしてそのなかで、義務教育費国庫負担金の廃止・縮減が検討される状況にある。

さらに、学校事務職員・栄養職員の給与費を国庫負担制度から適用除外し、一般財源化するという考え方もさらに上げられることは確実だといわれている。

もしこのことが実施されるならば学校内の協力態勢を損ない、学校運営にも大きな影響を与えるだけでなく、地方財政が受ける影響は極めて大きく、地方自治体の財政力により教育水準に格差が生じるなど、教育の機会均等を損なうことにもつながりかねない。

したがって政府は、国の責務である教育水準の最低保障を担保するため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、「交付金化」や「一般財源化」を行わないこと。また、学校の基幹職員である、学校事務職員・栄養職員を義務教育費国庫負担制度の対象職員として引き続き堅持するように強く要請するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年3月26日 筑紫野市議会  
(提出先 内閣総理大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣)

### 教育基本法改正にかかわる意見書

文部科学省の諮問機関である中央教育審議会は、平成15年3月20日「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興計画のあり方について」の答申をまとめ、教育基本法の見直しを提起した。

中央教育審議会は、平成14年11月の中間報告後、賛否半ばする世論が明らかになりながら、平成15年に入り急速に審議が進められ、短期間にして答申がまとめられたことは、今日の教育課題や子どもたちが置かれている状況などについて十分に論議が尽くされたとは考えられない。

教育基本法の改正が直ちに今日の教育の諸問題の解決に直結するものではないと考えられる。教育の再生のためには、まず教育の諸課題を一つ一つ点検し、実態に合わせて改善策を考えていくという地道な作業が重要である。

教育基本法は、その前文で「個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にしてしかも個性ゆたかな文化の創造をめざす教育を普及徹底しなければならない」としている。

今日の教育問題は、教育基本法の指し示す方向が現実の教育現場において、どれだけ生かされてきたかを徹底的に検証することがなにより重要なことであり、どこまで実現できたか、実現できていなければ原因を究明し、実現のために必要な施策はなにかを優先的に取り組むべきと考える。

政府・国会におかれては、上記の諸課題を認識され、改正については、広く国民の意見を聞かれ、慎重な審議で望まれるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年3月26日 筑紫野市議会  
(提出先 内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長)

### 年金課税強化の撤回を求める意見書

政府は、平成16年度税制改正案の中で年金の課税強化を決定され、「公的年金等控除」及び「老年者控除」の縮小廃止の方向で進められている。

このことは年金生活者に対する増税であるとともに実質的な年金の引き下げを行うものと言わざるを得ない。

現在、年金生活者は、健康保険法の改正による医療費や介護保険料の負担増を強いられており、生活環境に大きく影響を及ぼしている中で改正案による課税強化をされることになれば将来への不安と失望をもたらすのではないかと懸念するものである。

従って、ささやかな老後の生活を送る糧として受給している年金生活者への課税強化については、高齢者の生活の実情をご賢察のうえ、ご高配いただきたく要請するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年3月26日 筑紫野市議会  
(提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)



### 訃報

去る4月4日、宮原利光議員(五期目、市民環境委員会委員、享年65歳)が逝去されました。  
故人の功績を称え、謹んで哀悼の意を表します。

# 代表質問

市民会議

野口功 議員

## 代表質問通告内容(抜粋)

筑紫野市財政健全化計画の取り組みについて  
 市街地整備事業と区画整理について  
 分別収集の種類を増やすことについて  
 産廃問題対策委員会の具体行動について  
 次世代育成支援対策法に基づく行動計画及び母子家庭などの支援事業  
 人権確立と啓発について  
 教育環境充実の大規模改修  
 地産地消の推進から米以外農作物を給食食材へ  
 九州国博に対する筑紫野市対応について

## 財政健全化への取組の抑制策と期間と目標について

**議員** 昨年十二月に「財政健全化への取組」が議会に提示されたが、歳出の抑制策が不十分である。また、平成十六年度を行財政改革元年と位置づけているが、その実施期間と目標はどのように考えているのか。  
**市長** 昨年十一月に策定した今後の財政運営の考えに沿って、新たな具体策を十六年度中に策定・実施し十七年度予算算

成にも反映させる。十六年度予算執行に当たっても節減に努める。今議会最終日には、財政健全化を図る決意を含め市四役の給料等一割カットの条例改正案を提案する。議員各位、市民の皆様は財政健全化へ向け深いご理解を賜りたい。  
 実施期間は、国の三位一体改革が三年間実施されることから少なくとも三年の継続は必要で、早急に具体的な達成方法等についても検討を開始する。

## 土地区画整理や市街地整備について

**議員** JR二日市駅東口地区整備事業が「市の顔」の機能を充実するとされている。では、重要施策とされる筑紫野西口土地区画整理事業はどう位置づけるのか。また、財政計画と事業計画をあわせての公表はいつになるのか。JR二日市駅東口の進捗状況は。  
**市長** 筑紫野西口は、緑あふれるふれあいのまち小郡、筑紫野ニュータウンの計画テーマを受け「エバークリーンアメニティタウン」永久の緑に包まれた快適なまちというテーマを掲げ、事業を進めているニュータウンの北の玄関口として、今後も積極的に取り組む。現在、財政計画にあわせて事業計画の見直しを行っている。素案ができた次第審議会等の意見を聞き、内部で検討して六月定例会には報告する。

JR二日市駅東口も現在、公共施設、再開発ビル、資金などの計画案を検討している。より精度を高めて行きたいが、計画内容が固まるには、今しばらくの期間が必要である。

## 新たな生活交通サービス計画と経費

**議員** 生活交通対策事業については、平成十七年度には試験運行実施を目指すとしているが、その進捗状況と、財政面については他市町の例でおよその額を示されたい。  
**市長** 生活交通対策の基本構想、基本計画の策定の上に本年度は実施計画を策定する。十七年度試行を目指し、庁内での検討委員会及び市民や関係機関等による策定委員会を設け検討を進めている。試行運転本格実施に向けての年間経費は、運行期間、運行ルート、運行方式や形態等によって変わるが、本年度策定する実施計画の中で明らかにする。近隣市の実例は、試験運行で八千万円から一億二千五百万円、運賃収入が約二千五百万円から四千万円という状況である。運行経費が運賃収入を大きく上回り、その差五千万円から八千五百万円が他市町の場合には財政負担となっている。その他初期投資として車両購入費、停留所設置費用、バスセンター整備費用等がある。今後、費用対効果、国の補助制度の

調査研究、利用促進の方策、マイカーから公共交通への転換などを講じる新たな生活交通の構築に向け、十六年度具体的に取り組みたい。

## 学校給食調理場のドライシステム化

**議員** 学校給食共同調理場のドライシステム化の内容と効果について尋ねる。  
**教育長** 厳密にはドライ運用と言われ、調理場の衛生管理水準の向上を図り、食中毒等の事故発生の防止のため、平成十二年度から設備器具等のハード面の整備や作業等のソフト面の改善を継続して進めている。具体的内容は、床などを水で濡らさぬよう乾燥したドライ状態に保ち、細菌の増殖を抑制するために調理器具は水等がこぼれにくい構造に変え、共に、床にこぼれてもはね返り水が混入しないように床から六十センチメートル以上の高さに器具を置くなど、食中毒発生の原因になる二次汚染の防止に努めている。より清潔な調理を目指して自動ドア、エアージャワーなどの設置、乾物倉庫の改造、床の塗装なども計画している。

費用対効果、国の補助制度の

二〇〇三新生グループ 尾野 正義 議員

代表質問通告内容(抜粋)

- 行財政問題と生活交通バスについて
- 産業経済振興と市民懇話会について
- 地域福祉計画について
- 農林業振興と水道水の安全確保について
- 住民自治問題と地域分権について
- 行政サービスについて
- 30人学級と学童保育所問題について

行財政問題と生活交通バスについて

**議員** 最少経費で最大効果の為、財政改革元年の取組みは、抜本的な生活交通バス対策は。  
**市長** 昨年十二月策定の財政健全化への取り組みを実施し、財政再建への決意として、四役給料の一割カットを提案する。  
 本年四月より廃止の吉木入口・袖須原間、山口・平等寺間で、代替交通対策として西鉄バス二日市(株)が運行する。契約は一年で、今後は市全体の新たな交通対策、今回の廃止区間、カミリーヤバスも含め今年度中に基本構想・基本計画を策定し、生活交通サービス計画策定委員会会で検討する。

産業経済振興と市民懇話会について

**議員** 中央通り商店街・夢さかえ21・二日市温泉の振興は、市民参加で振興策策定のための市民懇話会の創設を。  
**市長** 商工観光計画を策定し、中小企業融資制度の拡充や商店街の活性化支援など行っている。この不況下で大事なことは官民一体となり知恵と力を出し合うことで、今一番大切な時期だ。懇話会の設置の件は、市民ニーズを十分に把握することが最も重要で、第四次総合計画策定に当たっても市民の意見を取り入れ、市民の皆様と協働で財政危機を乗り切りたい。

地域福祉計画について

**議員** 筑紫野市の福祉三計画の現状と評価は、計画策定委員に知的精神障害者の家族の会の方が入っていないが。  
**市長** 老人福祉計画、障害者福祉長期行動計画、児童育成計画の三福祉計画は一定の成果を上げていけると考える。

農林業振興と水道水の安全確保について

**議員** 農業生産基盤整備の現状は、生ごみ剪定ごみの堆肥化で土づくり推進など環境循環型農業を目指す施策は。  
 産廃処分場問題は水道法に基づき解決を目指してはどうかか。  
**市長** 食料農業農村基本法等で、農地の確保、主要品目に関する生産目標、農業振興地域制度が設けられている。  
 ご指摘の環境循環型農業の構築も検討を進めている。安全な水の供給の件は、水

住民自治問題と地域分権

**議員** 本市は人口増と共に近隣とのコミュニケーション不足等、従来の住民自治制度は限界で、地域校区分権が必要。各地域に補助金を一括配分し、使途も地域で決めてはどうかか。  
**市長** 今日多くの課題を地域で解決する自治力を高める必要性が求められている。地方分権が進展し地方自治体の自立と責任が求められる中、市民と行政の協働による街づくりの環境条件整備が重要と考える。

三十人学級・学童保育所問題

**議員** 子供と先生が向き合う三十人学級は市長の考えと我々は合致する。進捗状況は、学童保育所二丁対策として学校施設を学童保育へ利用を。  
**教育長** 平成十六年度で一校、十七年度で二校試行し、成果を踏まえ十八年度は小学校一・二年を対象に本格実施の予定だ。三十人学級は子供に確かな学力豊かな心、生きる力を培い、能力と個性を最大限に伸ばす。実現に向け効果的に取り組む。学童保育所入所希望者が年々増加しており、学校開放時教育活動、管理運営等に支障がないよう施設管理面安全面等考え対応する。

行政サービスについて

**議員** 事務事業の見直し、仕事の進め方を変えることで高サービスが提供できないか。コス

トをかけずサービス向上の為に、変形勤務制度等導入は。  
**市長** 行政サービスの内容は職員に大きく左右されるが、事業執行体制をシステム化し、全庁的に意識づけける行政評価システムを検討中であり、有効に機能させるためにも多様な職員研修を行っていく。変形勤務時間制度は一部シフト勤務体制を導入しているが、今後も機動的な職務の執行体制の構築を調査研究したい。

つくしクラブ

横尾 秋洋 議員

代表質問通告内容(抜粋)

- 平成16年度施政方針作成について
- 市長公約の実現について
- ・クリーンな市政とは
- ・健全な財政とは
- ・市民がつくる市政とは
- 平成16年度の予算編成について
- 行財政改革元年について
- 大型公共事業の継続性について
- ・JR二日市駅前東口地区市街地整備事業について
- ・二日市中央通り商店街活性化事業について
- 学校教育における少人数を含めた30人学級について

施政方針について

議員 本年は市長就任二年目であり、平成十六年度の施政方針をどのような思いで作成されたのか。

また、市長任期一期四年の中での本年の位置付けをどのように思われているのか。

市長 本市の財政状況は大変厳しい状況にあり、この厳しい財政を克服しながら、次世代へ健全な財政を引き継ぎたいと思っている。

二つ目は、十万都市を目前にして、十年後の都市像をつくっていく総合計画づくり元年の年であると思っています。

クリーンな市政について

議員 市長公約のクリーンな市政実現施策として市四役・議員は政治倫理条例の遵守、市職員には職員研修システムの充実を掲げているが、この対策のみで果たせるのか。

市長 市四役は政治倫理条例を遵守し、市職員は職員倫理要綱や職員研修を通じ意識改革を図っていく。



平成十六年度の予算について

議員 市長は新春対談の中で具体的歳出削減対策として、職員の時間外手当削減、物件費三%カット等を掲げているが、予算に反映できたのか。

また、この厳しい財政の中、前年予算比七%増は、前年度に引き続き大幅な基金取り崩しなくしては予算編成ができなかったと思われる。

市長の予算編成方針と基金の見直しを尋ねる。

市長 予算編成方針作成時、国の三位一体改革の影響額が不透明であり、一月二十七日の県の説明会で、約十億円の歳入削減とわかり、急遽担当課へ全費目の予算削減を指示したが、減税補てん債の一括繰上償還、二日市、山口小学校の大規模改造等の負担があり、歳入額に見合った削減に至らず、二十七億円の基金取り崩しを行った。

平成十四年末約九十二億円の基金が、平成十六年度末で約六十五億円となる見込みから、あと二年程度しか対応できない状況である。

健全な財政の取り組み強化

を図って行きたい。

行財政改革元年について

議員 平成十六年度を行財政改革元年と位置づけしているが、その施策が一般会計予算に反映しているのか。

財政健全化の取り組みと予算編成との整合性はとれているのか。

市長 平成十六年度は国の三位一体改革の関係で、各自治体とも歳入不足が生じており、予算執行にあたっては節減に努め、財政健全化を進める決意として、市四役の報酬等の一割カットの条例案を本議会に提案させていただく。

大型事業の継続性について

議員 JR二日市駅前東口地区市街地整備事業、二日市中央通り商店街活性化事業の進捗状況と市の経済的支援をどのように考えているのか。

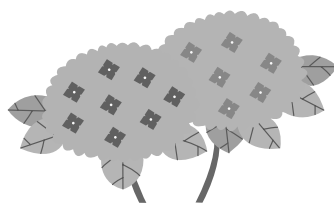
また、イオン筑紫野ショッピングセンター(仮称)の出店計画もあり、本市の商業環境が大きく変化しようとしているのではないか。

市長 JR二日市駅前の整備

事業は、本年度、住民の意識調査や市街地再開発B調査及び具体性を持った基本計画案の作成を行う。事業形態は組合施行といえども、市の玄関口の整備であるので、市としても積極的に支援をしていきたい。

中央通り商店街は、活性化推進協議会で事業実現を目指した取り組みが熱心に行われている。

地域の商業環境は急激に変化しており、事業の進行具合を報告していきたい。





公明党筑紫野市議団

森田 健一 議員

代表質問通告内容(抜粋)

- 施政方針について
  - ・健全な財政について
  - ・「協働」の具体的展開について
- 子育て支援策について
  - ・役割の認識について
  - ・連携について
  - ・運営費等への助成支援策について
- 学校の安全性について
  - ・当市の現状について
  - ・特に地域、関係機関との「協働」について

健全な財政について

議員 今年度を行政財政改革元年と位置づけられたが、どのような手法で、また予算執行の優先順位に反映しているのか。

市長 財政健全化への取り組みは即実施できないものが多い。新たな具体策を十六年度中に策定し実施すると共に十七年度予算編成にも反映する。

「協働」の具体的展開について

議員 住民票等の自動交付機の設定工事に関連して、市民サービスに力点を置いたレイアウト変更、例えば収納部門、又昨今被害が多発している消費者問題の相談窓口の一元化

等について伺いたい。

市長 分散、狭隘な現市庁舎の物理的な理由が多々ある中で、可能な限り行政サービス部門の集積を図り、ワンストップサービスを目指したい。

認可外保育所との「協働」について

議員 今後保育に対するニーズは増え続け、又多様化する中、認可保育所と認可外保育所との協働の文化を構築する時期、そこで認可外保育所に対して、実態に合った何らかの助成策について伺いたい。

市長 児童福祉法の一部改正で認可外保育所職員の健康診断の助成制度が制定された。本市も助成のため十六年度に予算を計上した。

学校の安全性について

議員 学校の安全性、すなわち子どもの安全を守る施策として空教室や校庭を活用して地域子ども教室、子ども居場所づくり)について地域との協働のモデルになると考えるが、我市の取り組みについて伺いたい。

教育長 子どもの居場所づくりは、福岡県の子ども広場事業市のBGLンジャー事業を区長、公民館主事、体育指導員等の協力を得て推進している。今後文部科学省の地域子ども教室推進事業に取り組み方向で検討している。この様に地域機関団体等の協力なしに子どもの安全を守ることはできないと考えている。

日本共産党筑紫野市議団

篠原 範子 議員

代表質問通告内容(抜粋)

- 自衛隊イラク派兵について市長の見解を問う
- 真の行政財政改革について市長の見解を問う
- 同和对策事業を終結に向けての計画を問う
- 30人学級の実施で教育の充実を
- ごみ減量化と産廃問題について
- 地域活性化について

同和对策事業見直しについて

議員 同和对策の諸事業について、法失効後五年間の経過措置を経て、平成十八年度までに同和对策を終結するのか。行政の主体性をもった、具体的な計画と決意を尋ねる。

市長 一般施策での対応とし、ソフト事業のうち十九事業を平成十八年度までの五年間の中で再検討を加える。平成十六年度に再検討を行う事業は、「固定資産税減免措置」「乳幼児医療費助成金」「公営住宅使用料減免」「運動団体補助金」「保育・健康保障の取り組み」「解放保育所対定数の六事業を行う。

市単独予算での試行は三十人学級で

議員 本市ではすでに全校で指導工夫改善教師が配置され少人数学習は実施済み。市単独で行う試行は三十人学級で行うことは市長の公約実現でもあり、市民が望んでいること。見解を伺う。

市長 県教育委員会の研究指定制度などを生かして平成十六年度、十七年度は少人数学級と少人数学習の両方を試行し、十八年度には小学校一、二年を対象に実施する。

住宅リフォーム助成金制度の導入で地域活性化を

議員 地域活性化は、中小企業融資制度の拡充だけではなく、仕事量・扱い高そのものが増えていく施策が求められている。住宅リフォーム助成金制度は、試行導入している自治体でも継続拡充を行うほど地域経済への波及効果が認められている。導入すべき。

市長 小規模の建設業は大変厳しい状況下に置かれている。助成金制度は、公共事業としての計画性や整合性、財源の見通しや確保などの問題もあり、引き続き研究していく。

# 一 般 質 問

3月定例会の一般質問では  
 市政について、14名の議員が37項目にわたり質問しました。  
 質問の内容については議員本人の提出原稿により編集しています。

質問者	質問事項	質問者	質問事項
濱武 振一	1. 「私は見た」村川への産廃搬入。名島、産興、鳥飼の産廃関連場の動きは 2. 12月26日に閉まる「生涯学習センター」と「委託業者」のサービス度を市民派市長はどう考えるか。 3. 「コンサルタント」に数百万円単位で委託している様々な計画を「市民参加型」にしてはどうか。 ほか2項目	古瀬 富美子	1. 食の安全・食育について 2. PTSD障害に対する教職員教育について 3. 文化・芸術・スポーツ施策について
		秋岡 宏昌	1. 新宝満環境センター建設について 2. 産業廃棄物処理場問題について 3. 情報公開について ほか1項目
若松 道子	1. 子どもの虐待、DV、高齢者の虐待について 2. 療育相談事業について	佐藤 政志	1. 市民サービスについて
伊藤 利之	1. 地産地消の取り組みについて	上村 和男	1. 「障害」児・者の福祉施策について 2. 同和問題の解決のために 3. 山神ダム上流域の産業廃棄物処理場問題について ほか1項目
大石 泰	1. 筑紫駅西口土地区画整理事業について		
篠原 範子	1. 次世代育成支援について 2. 山家地区、飲料水確保について	野口 功	1. 初めて通園・通学させる親の立場から、教育問題について
		里永 紘一	1. 平成16年度の筑紫野市の予算について 2. 山神ダムの水について 3. 春日市では都市計画に住居案採用で条例が出来るが ほか1項目
城間 広子	1. アクアフォーレ買収計画について 2. 同和行政の終結が、本市の財政再建の重要な要では 3. 自校直営方式の学校給食について		
尾野 正義	1. 財政問題について (医療費問題として) 2. 筑紫野市の代表的商業ラインの活性と二日市温泉の復活 3. 御笠、原地区にマーケット誘致について ほか1項目	赤司 泰一	1. ビジターズ・インダストリーについて 2. 市民の「やる気」とそれを必要とする市民の為に

詳しい内容は、市民図書館・地区公民館・コミュニティセンターに会議録を備えますので、6月上旬からご覧いただけます。

御笠原地区にマーケット誘致について  
 議員 過疎市街地であり高齢化の進む原地区へのマーケット誘致について、昨年十二月議会での答弁で、原地区はモデル地区として、地域分科会で検討し、魅力ある居住環境づくりを基本理念に置き、本年早々、都市計画法の手続に入る」と答弁されたが、その後の進捗状況について伺いたい。  
 建設経済部長 十二月以降、本年一月に三回目の地域分科会を開催し、原地区の土地利用構想案の承認と地区計画案を検討し、三月には地権者説明会と四回目の地域分科会を開催した。その中で地区計画素案の承認をいただいた。十六年度早々にも県都市計画課、農政課と協議し、都市計画法の手続に入って行きたい。事業は予定通り進んでいる。

発展の  
礎を築く  
都市基盤

### 筑紫駅西口 土地区画整理事業に ついて

**議員** 筑紫野市のまちづくりの中で、筑紫地区、特に筑紫駅西口土地区画整理事業をどのように位置づけているのか。

また、この事業の進捗に当たっての資金計画はどのように考えているのか伺いたい。

**市長** 本市のまちづくりの基本となる都市計画マスタープランの中で、JR原田駅・筑紫駅周辺は、市役所出張所等の公共施設と駅前商業地区の形成により、小郡筑紫野ニュータウンの核となる副都心としての整備を図る」と位置づけている。また、既存市街地における重点整備地区として位置づけており、計画的な整備を



西 鉄 筑 紫 駅 西 口

推進するようにしている。

**建設経済部長** 本市は厳しい財政状況ではあるが、市の重点施策と位置づけており、起債額及び保留地処分金を除いた一般財源を、毎年度四億円程度で事業を推進する方向で検討している。

## 暮らしの クオリティーを 高める

生活環境

### 新宝満環境センター 建設について

**議員** 新宝満環境センターの建設が一年延期になった理由及び今後の対応策は。

「ごみ減量市民会議」が開催されているが、市民の知恵と意欲の検討結果を今後の施策にどのように活かすのか。

**市長** 一年延期せざるを得なかった理由は、一部施設用地買収の遅れだが、誠心誠意、地権者と協議を行い、できるだけ

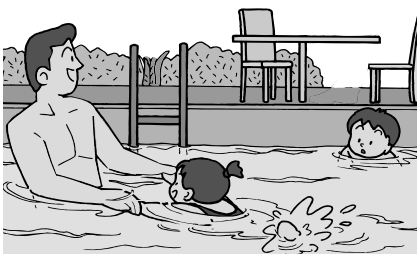
早く買収にこぎつけたい。

また、焼却炉の点検を行い、適正なごみ処理に万全を図る。ごみ減量市民会議で策定された行動計画を速やかに実行に移すため、市民・事業者に対してごみ減量行動計画のダイジエスト版等による、周知徹底、市民、事業者との調整、場合によっては市独自の制度も視野に入れ、ごみ減量に取り組みたい。

### アクアフォーレの買収 計画について

**議員** 宝満環境センター建替に伴う地元要望の温水プール

の代替として六億五千万円で買収しようとしているアクアフォーレは原田の高齢者には交通量の多い三号線を渡らね



ばならず安全ではない。地元

の了解は得たのか。市民プールとしても南の境で不適だ。買収計画は中止すべきでは。

**助役** 温水プールは宝満環境センターの新規溶融炉の余熱

を利用する計画だったが、概算二十四億円の設置費、ランニングコストの問題があった。長崎自動車から、アクアフォーレを売却するとの話があり、清掃施設組合の構成市町の長、組合議会で議論され、プール建設の選択肢の一つに加えられた。現在、組合事務局では調査研究中である。

地元の役員の方々には説明しているが、今後も協議を重ねご理解を求めて行きたい。

### 井戸水の水銀問題について

**議員** 山家地区の井戸水から

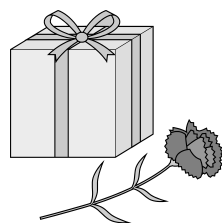
水銀が検出され、飲料水に適さない。市民に安全な水を供給する責任ある行政として、飲料水の確保のために積極的な対応をすべきでは。また、過去周辺に一般廃棄物が投棄された地域である。周辺の井戸水の定期的な検査を行い、推移を監視すべきではないか。

**市長** 十五年三月に地元区長

を通じ回答しているが、不健全な状況を少しでも解消するよう緊急措置として飲料用水のみ確保できるよう協議の予定である。その後は、この地区から区長に話をされていないようなので、状況を確認し、早急に協議したい。

井戸水の検査の件は、汚染原因が自然由来との結果が出たので、設置者自ら検査を実施されるようお願いしたい。

私もお待ちの姿勢ということではなく、この飲料水問題は、地元の区長をパイプとしていますが、早急に市からも打診し協議して行きたい。



### 山神ダムの水について

**議員** 産廃連は県庁へ許可取り消し等の要請を行った。ダムの水が安全な水道水として供給できなくなった場合、市の対応をお尋ねする。

また山神ダムの水とその他水源の給水範囲をお尋ねする。  
**上下水道部長** 万一、用水の供給に問題が生じた場合は、四つの水源別の配水エリアを調整し、水道水を安定的に供給し、市民生活に影響を与えない給水体制をとる。

山神水道企業団分は、筑紫地区、山口地区を中心に一部二日市地区を、福岡地区水道企業団分は、ほぼ二日市地区全体、また自己水源の常松浄水場分は、針摺地区周辺、御笠地区及び筑紫地区の一部を、



山神ダム

山口浄水場分は、湯町地区周辺を配水エリアとしている。

### 食の安全の確保と食育について

**議員** BSE、食肉偽装事件、輸入野菜の残留農薬など市民・消費者に不安を与えている。鳥インフルエンザに対する市の対応は、食を通じた子ども

の健全育成のあり方、若者層を中心とした食に関する知識の欠乏、食習慣の乱れが心配されている。食育に対しての考えについてお尋ねする。

**建設経済部長** 現在、県中央家畜保健所と二十四時間の連絡体制をとるとともに、市民からの情報提供や問い合わせに対し、現地確認や県への連絡報告等を緊密に行っている。

また、市関係部署の連絡を強化し、市民に対し基本的な知識や予防法などを紹介したチラシの配布など正確かつ迅速な情報提供に努めている。

**教育長** 食育への考えの件について、学校での食の教育は、単に栄養のバランスという面の指導だけではなく、食に対する知識から、心の問題、人間関係に至るまでの食文化の教

育として重要視している。

まちの力を  
たくわえる  
産業振興

### 地産地消の取り組みについて

**議員** 平成十五年度の施政方針に地産地消とあったが、直売所、学校給食で約一億円の生産販売額である。市内全世帯当たり一日十円の消費額で、更なる消費を図るため市内の対応部課、商工会、JA、生産者等で直売所イコール物産館等の建設推進協議会を発足させ活性化を図ってはどうか。

**市長** 現在学校給食への取り組みを中心に行っているが、今後、納入量の増加や品目の拡大を図るため、JAや生産者と学校給食納入会議を定期的に関催し、供給体制の確立に向け努力したい。  
直売所の件は、今後、市関係

部局JA生産者商工会観光協会等、関係者団体と連携を図り、道の駅を初め農畜産物の直売所の設置の研究協議を行う。地産地消の積極的推進、その仕組みづくり、生産・販売・消費のルートづくりをしかりと推進していきたい。

### ビジターズ・インダストリーについて

**議員** 観光客・施設消費による経済波及効果、地域経済活性化を誘発する事業に対してのご見解をお伺いする。

また、ちくしのブランド」をアピールしていく為に、シテイプロモーションをどのよう展開していくのか。

**建設経済部長** 本市でビジターズ・インダストリー振興の計画を策定し、事業を具体化していくためには、さらに研究を重ね、体制を整備していかなければならない。

当面は市商工観光振興計画をもとに個々の集客材や産業の整備充実、既存イベントの改善などを中心に取り組みを進め、集客の拡大と産業の活性化に努めたい。

力をあわせ  
共に生きる  
人権確立と啓発

### 同和問題の解決について

**議員** 現在、市では第四次総合計画の策定作業に入っているとと思う。この中に同和問題の解決をはじめ、人権尊重のまちづくりというものを主要な柱として位置付けられるつもりがあるのか、ぜひ大事な長期計画であるので、明確にお答えいただきたい。

**市長** 現在計画策定に当たり、第三次総合計画の成果と課題、市民ニーズの把握に努めている。当然、人権尊重のまちづくりは、すべての施策の中に反映されていかなければならないと考えている。

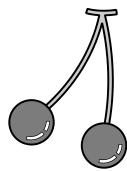


### 同和事業の廃止時期を明確に

**議員** 北九州市の同和事業は固定資産税減免は九年度末廃止、保育料減免は十三年度末廃止、地区児童生徒の学力補充学級は十四年度末に廃止した。これ以上の同和事業の継続は市民の理解が得られず、地区住民の自立を阻害する。行政の主体性をもって事業の廃止時期を明確にすべきでは。

**市長** 国の財政的な措置の終了により、地方自治体では、今日の財政難の中で同和問題解決への諸施策の継続が困難になりつつあるが、法の失効と同時に、同和問題解決は国民的課題であり行政の責務である」との同対審査申の精神が放棄されるべきではない。

当然、財政健全化に向け同和事業も聖域ではないが、教育や雇用の機会が著しく損なわれている現状に鑑み、行政として主体性を持って協議し、検討をさらに加えて行きたい。



### 虐待について

**議員** 最近ほとんど毎日胸の痛くなる子ども虐待のニュースが報道されているが、筑紫野市の状況について次の事をお尋ねする。筑紫野市における子ども・DV・高齢者への虐待把握件数は、相談窓口は、知る人ぞ知る窓口ではなく、誰にでもわかる総合相談窓口が必要と思うが、いかがか。

**人権環境政策部長** 男女共同参画推進課所管の女性相談室に寄せられるDVに関する相談件数は、平成十三年度四十四件、十四年度七十六件、十五年度は二月末現在で八十九件と年々増加している。

**市長** 総合相談窓口については、これを開設すると市民の利便性が高まり、サービス充実という効果が期待できるが、窓口でのトラブル処理手順、人的配置の問題等を解決して実施しないと、かえって市民サービスの低下を招く。

また、関係機関・団体との連携も十分検討が必要であり、今後の研究課題としたい。

## 安心と あたたかさを 追求する

保 険 ・ 医 療 ・ 福 祉

### 障害児者の福祉施策について

**議員** 障害者の支援費制度が始まって一年になる。介護保険との合流合併が取りざたされているが、今後の見通しはどうか。

また、現在筑紫野市で策定・議論中の地域福祉計画の中で、「障害」児者の福祉はどう位置付けられるのか。

**健康福祉部長** 平成十六年一月、厚生労働省に介護制度改革本部が設置され、介護保険制度見直しの論議中である。十七年の通常国会に制度改革案提出、十八年四月施行に向け作業が行われている。

本市障害者福祉長期行動計画で目標とされた障害者の完全参加と平等の位置づけの実現のためノーマライゼーションとリハビリテーションの二

### 療育相談事業について

つを基本理念として計画を推進していく。障害を持つ方々の地域での実生活の中にこのことを実現していくことが地域自立生活支援で、地域福祉計画に基づき地域福祉を推進していくことで、本市の障害者施策が充実したものになる。

**議員** 知的障害には早期発見、早期療育が必要とされている。また、いつでも出向いて相談や指導を受けたり、保護者同士の情報交換できる場が必要だが、本市にはない。今回、市長の施政方針にある療育相談事業とは、関係機関への連絡調整か、一歩進んで療育の場の提供という事か。

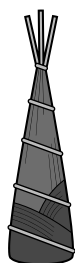
**市長** 施政方針で述べた子ども療育相談室では、心身の発達に遅れのある児童の早期療育相談と保健指導を行う事業。医師、言語聴覚士、作業療法士など、様々な専門家による療育訓練への方向づけや助言、指導を行う事業。関係機関へ紹介したりサービス利用に結びつけたりする関係専門機関との連絡調整を行う事業。制度、専門相談窓口、当事者

やボランティアなどの情報提供や同じ悩みを持つ保護者の方々の情報交換などセルフヘルプ活動の育成や助言を行う事業、以上四事業を行う予定である。今回ご指摘のように、もう一歩進んで市として場を提供し療育を図る。

具体的には、さるびあ学園で、障害の回復や軽減、残存能力の向上、食事排せつ・運動等の日常生活訓練、集団生活による協調性や社会性の訓練等とその子の障害の程度に合わせた訓練プログラム、訓練目標に沿って系統的に行えるよう条件整備を行う。



5月に移転のさるびあ学園等(カミーリヤ敷地南側)



### 医療費の軽減を図るため「老人サロン憩いの家」設置について

**議員** 国保若年層と老人医療対象の医療費と介護保険普及費の合計は百四十六億円で一般会計予算の約五割だ。老人の集いの場所を増やし高齢者の健康増進により、医療費補助額を減額できる。昨年六月、代表質問で「寝たきり老人セロを目標に取り組み」と答弁されたが、その後の進捗状況は。

**市民部長** 高齢者の寝たきりの原因の四割が転倒によるもので、防止策として太ももの付け根の筋肉の働きに着目し、筋力維持アップに取り組んでいる自治体にヒントを得て、医療費削減対策を目的に、昨年九月から関係五課による「健康なまちづくり会議」を五回開き情報を交換して、医療費削減の視点から事業効果の上がる手法を模索している。

すこやか元気クラブの受講生O Bが教室卒業後も継続して健康づくりができる機会を提供したい。また体力向上教室にこころヘルシー教室へ参加していただき、医療費動向の調査研究にかかわっていたら

いて、顕著な効果があれば、より効果の上がる新規の調査研究事業を取り組めるよう予算化の検討をしたい。



総合保健福祉センター「カミーリヤ」

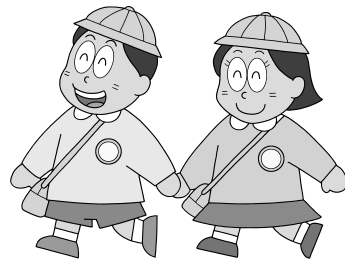
### 次世代育成支援対策について

体で子供が健やかに生まれ育つ環境づくりと子育て支援社会づくりの推進を掲げ、関係所管課と連携し推進している。今回の次世代育成支援計画には当然踏襲していく。

次世代育成支援対策は、国、地方公共団体、事業主が保護者による子育てを肩代わりするものではなく、仕事と子育ての両立の負担、子育てに伴う孤立感等、保護者が子育ての責任を全うできるための環境づくりの推進が重要である。

**議員** 十六年度末までに、教育環境や生活環境の整備、仕事と家庭生活の両立の推進など多岐にわたる次世代育成支援対策の行動計画を、策定しなければならぬ。住民ニーズを盛り込んだ実効ある行動計画が求められる。どのような子育て支援に視点を置いたまちづくりを目指すのか。

**健康福祉部長** 平成十一年策定した児童育成計画により、市、県、家庭、地域、企業、学校、保育所等が一体となり、市全



みんなで  
まちづくりを  
すすめる

行 財 政

### 情報公開について

**議員** 筑紫野市議会は本年四月から情報公開の実施機関に参入する。更に公社や一部事務組合も情報公開条例が制定され、市民の知る権利が大きく前進したことになる。この上は、「情報提供」を積極的に推進すべきだと考える。今後の施策・検討事項は何か。

**市長** 情報公開制度見直しを目的に、本年度から十六年度にかけて行う庁内の検討委員会や市民参加の審議会の中で情報提供施策についての検討も行う。

情報技術の活用によるペーパーレス化、双方向性による情報の共有化の具体的施策については、地域情報化推進計画で位置づけ、平成十七年度に稼働を目指している総合文書管理システムの構築や市公

式ホームページの充実改善を図る中で具体的施策を講じる。

市民のやる気」とそれを必要とする市民の為に

**議員** 市長の言われる「協働」に対して、ボランティア団体・NPOをどのように位置づけて行くのか。今後NPO・ボランティア組織の展開についてお伺いする。

**市長** ボランティア活動については、地域の自主的・主体的活動として支援策はすでに講じているが、今後も適切な支援をしていく。NPOについては、活動に対する助言、情報提供、活動しやすい環境整備などの支援も重要で、行政組織の再構築や施策業務執行のあり方、職員の意識改革の観点など多くの課題について調査研究し「協働」によるまちづくりの視点からその位置づけや方向性を見出し総合的な市民力を高める為の努力をしていきたい。



### 市民サービスの向上について



市民課窓口

**議員** 住民に身近な窓口サービスの向上について、土曜日、日曜日、祭日の市民への対応の拡充が求められている。住民票の写し等の受付ボックスを設置し、休日も申請が出来るようにしてはどうか。

また「電話コールセンター」ちよつと教えて」の開設をしてはどうか伺う。

**市長** 受付ボックスの設置については、印鑑登録証明などの自動交付機の導入という状況の中、まず夜間・休日も稼動する体制を整え、自動交付機の導入後の利用状況等も見ながら改善に努める。

休日に開庁の市もあり、市民ニーズを十分分析して検討

し市民サービスの向上に努めたい。

「ちよつと教えてコール」の開設は、市民サービスの方策として貴重な提言であり、今後の課題と受けとめる。

### 平成十六年度筑紫野市の予算について

**議員** 筑紫野市の予算について最善策、どこを重点的に取り組まれたのか。熊本市は予算案の発表に合わせ、各部署から財政課への事業ごとの予算要求額を公表することになったが、筑紫野市はいかがか。

**市長** 本市の財政状況は極めて厳しい。昨年十二月に財政健全化の取り組みを決定し、歳入歳出に関して具体的実施項目を定め、即実施可能なものを十六年度予算編成で取り組んだ。例えば、実施計画の財源の起債発行額を十億円以内に圧縮、執行部内各種委員会の研修視察を二年に一回に、簡易な機材の保守点検委託等は財政課と教務課に集約して予算計上などを行った。投資的経費は5%削減、経常経費は人件費扶助費・公債費を除き3%削減を目標に重点的に

取得済み、本定例会最終日に市四役の給料の10%カットの条例改正を提案予定である。情報公開の件は、情報公開法や個人情報保護法との整合性を含め、時代に即した情報公開推進のため、情報公開制度見直しの基本方針を定めている。十六年度に情報公開条例を改正し、情報の公表実施も調査検討の予定であり、ご指摘の件は、この結果が出た段階で十分検討したい。

人のかがやく  
場をふやす

生涯学習・スポーツ・市民文化

### 初めて通園や通学させる親の立場からの教育問題

**議員** 親として我が子を入園入学させることは、大きな喜びで、子どもたちも心はずみ希望や期待感を胸一杯に秘めながら入園・入学式に臨むと

思うが、反面、親も子も不安な面もある。教育委員会として安全面での対策(登下校を含む)と、「いじめ」、不登校など現状と対策について尋ねる。

**教育部長** 通園通学の交通安全事故対策は、各学校保護者地域と協議し安全な道路を通学路と定め、各学校で四月に交通安全教室を開催し、新入学児童の下校時に担任教師が付き添い安全指導を行っている。

不審者対策は、一人で帰宅しないよう、危険に遭遇したときの対応も指導している。学校の来訪者には、窓口で受付簿に名前や目的を記入、名札の着用を義務付けている。

不登校は、各学校で校長や担任を中心に子供の実態に応じた対応と指導を行い、家庭訪問や電話連絡で家庭と連絡を密にとっている。「いじめ」は、本年度二件報告があったが、即時対応し短期間で解決した。不登校いじめ等の対策はマンツーマンの指導体制の強化、

中学校のスクールカウンセラー、心の教室相談員の配置、スクールアドバイザーの派遣などの相談体制を充実させ問題解消に努めたい。

### PTSD 心的外傷後ストレス障害に対する対応について

**議員** 阪神淡路大震災の死の恐怖等、ストレスの結果、反復的な悪夢や外傷的出来事がつこく再体験され、不眠、過度の警戒心等日々の生活が送れなくなる。この度、部活の行き過ぎた指導で二人の生徒がPTSDとなった。今後発生させない事が大事だ。虐待等を見抜く目を養う施策は。

**教育長** 教育現場で心的障害を招くことはあってはならず、大変残念だ。学校挙げてその後の対応に一生懸命取り組んでいる。県教委のいじめ早期発見指導の手引きのチェックリストで各学校で児童生徒の日常生活をチェックし、児童生徒の発するサインを見逃さないよう努め、教職員の児童生徒を見る目の強化のため教職員の研修を充実させる。

また教職員の他に児童生徒のサインを察知できる人材、スクールカウンセラーや心の教室相談員を配置する。この事で学校内虐待を見つづける目を学校に持たせることになる。

人事案件

筑紫公平委員会委員

江副 範子

(筑紫郡那珂川町 片縄北四丁目五番十二号)

三月三十一日の任期満了に伴い、右の方を推薦することについて、三月二日の本会議で同意しました。

筑紫野市農業委員会委員

坂口 博幸

(大字針摺五九〇番地七)

右の方を推薦することについて、三月八日の本会議で可決しました。



議会会派一覧

Table with 6 columns: 市民会議, 2003新生グループ, つくしクラブ, 公明党 筑紫野市議団, 日本共産党 筑紫野市議団, 会派に所属しない議員. Rows list members and their terms.

◎代表 (平成16年4月6日現在)

お詫びと訂正

平成16年3月1日発行の「議会だより筑紫野」第123号の2ページの一部に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

正 収入済額 278億
誤 収入済額 178億

編集委員

城 森 大 尾 野 下 田
間 田 石 野 口 田 中
広 健 正 淳
子 二 泰 義 功 一 允



マスコットキャラクター つくしちゃん

二日市温泉ゆかりの伝説上の人物「瑠璃子姫」をモデルに、市制20周年を記念して制作したマスコットキャラクター。愛称の「つくしちゃん」は一般公募により名付けました。



市章

つくしの「ち」を図案化したもので上部の突き出た部分は「躍進」を、外周の円は「融和と豊かさ」を表しています。



シンボルマーク

第45回国民体育大会「とびうめ国体」の本市開催を契機に制定。権と温泉をモチーフに、あたたかい心と活力を表現しています。

あなたも議会を傍聴しませんか。
次回の定例会は、6月3日(木)開会の予定です。
詳しいことは、筑紫野市議会事務局(電話929-5399)へお問い合わせください。